

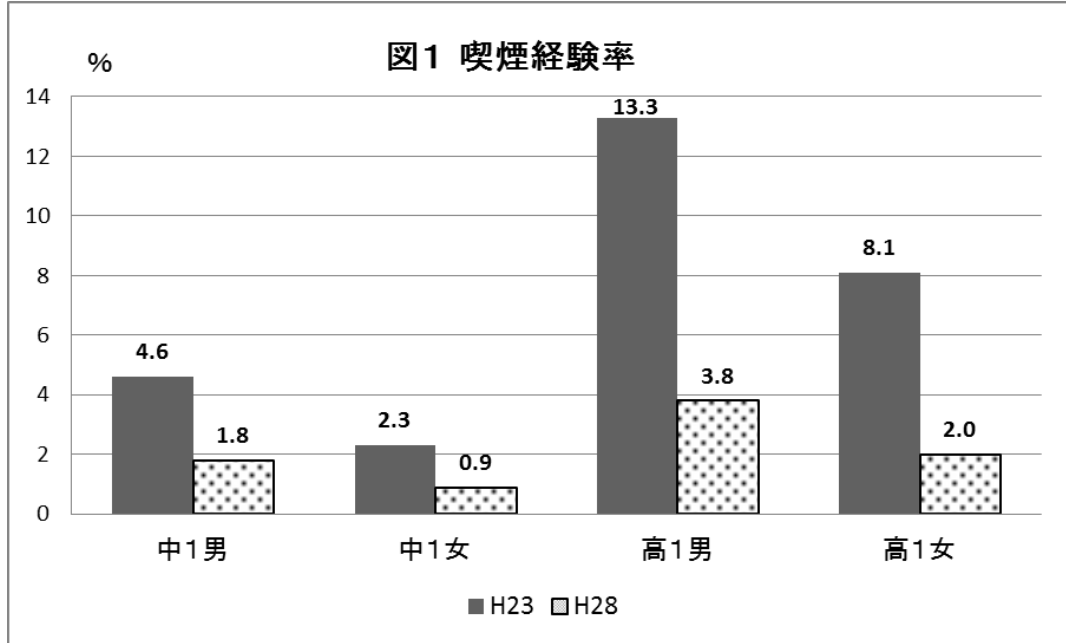
1 喫煙の状況

(1) 喫煙経験

喫煙経験は、中学1年生男子が1.8%、女子が0.9%、高校1年生男子が3.8%、女子が2.0%であった。

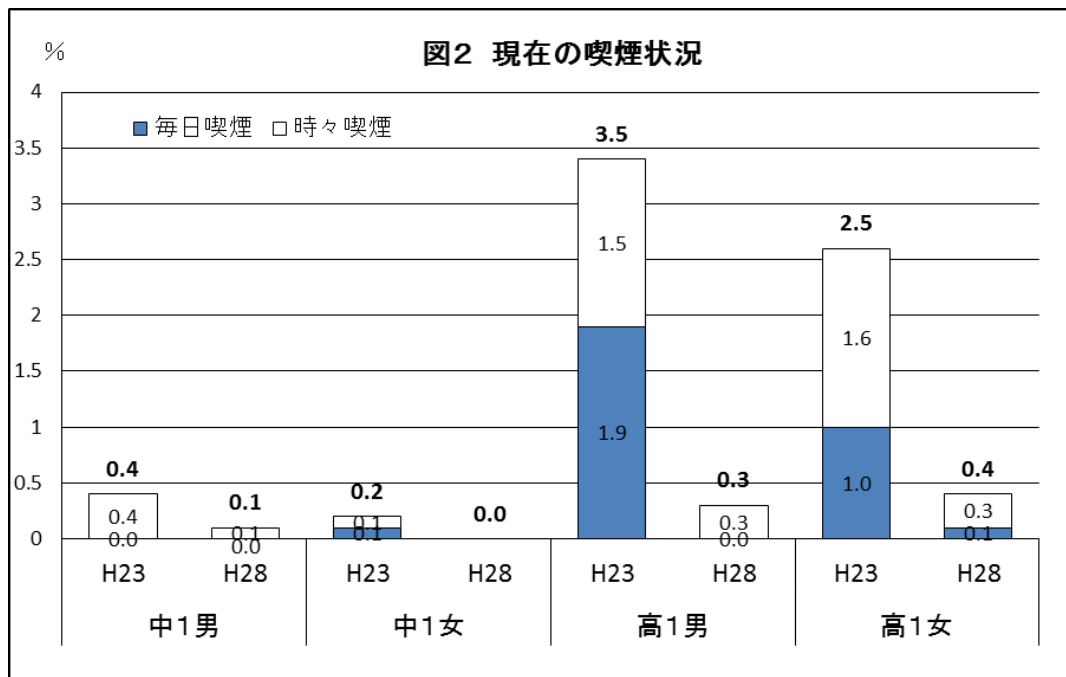
前回調査時（H23年度）と比較すると、全てで減少している。

特に高校1年生男子の喫煙経験率は約10%減少している。（図1）



(2) 現在の喫煙状況

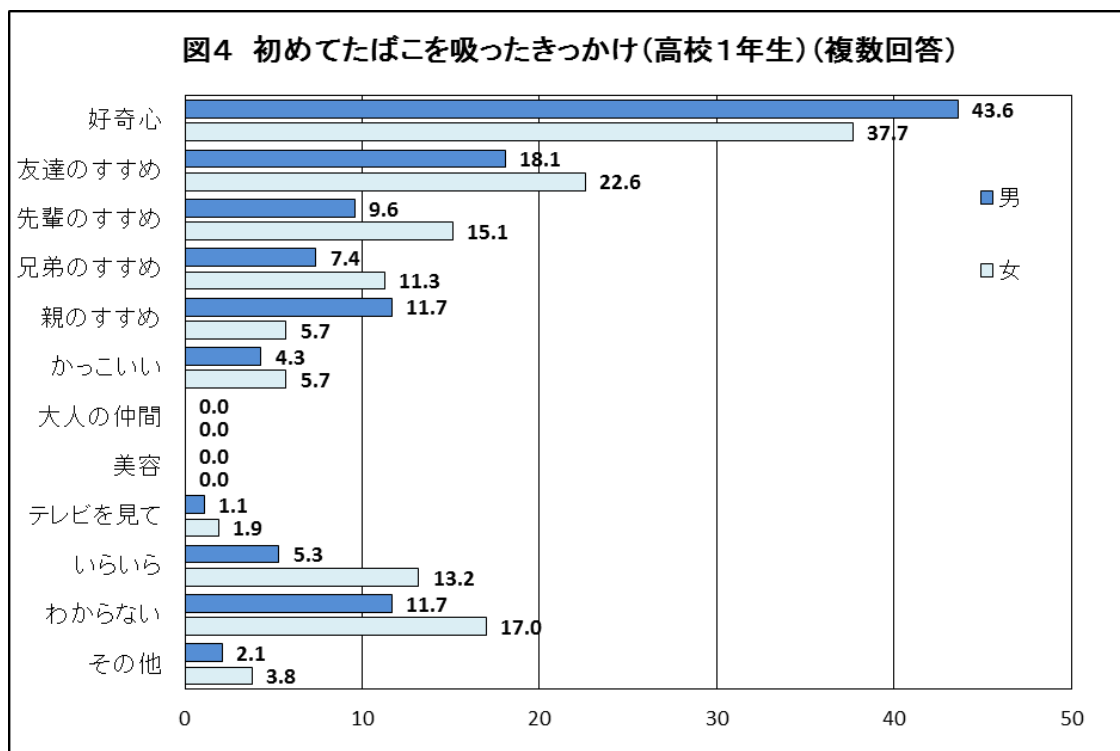
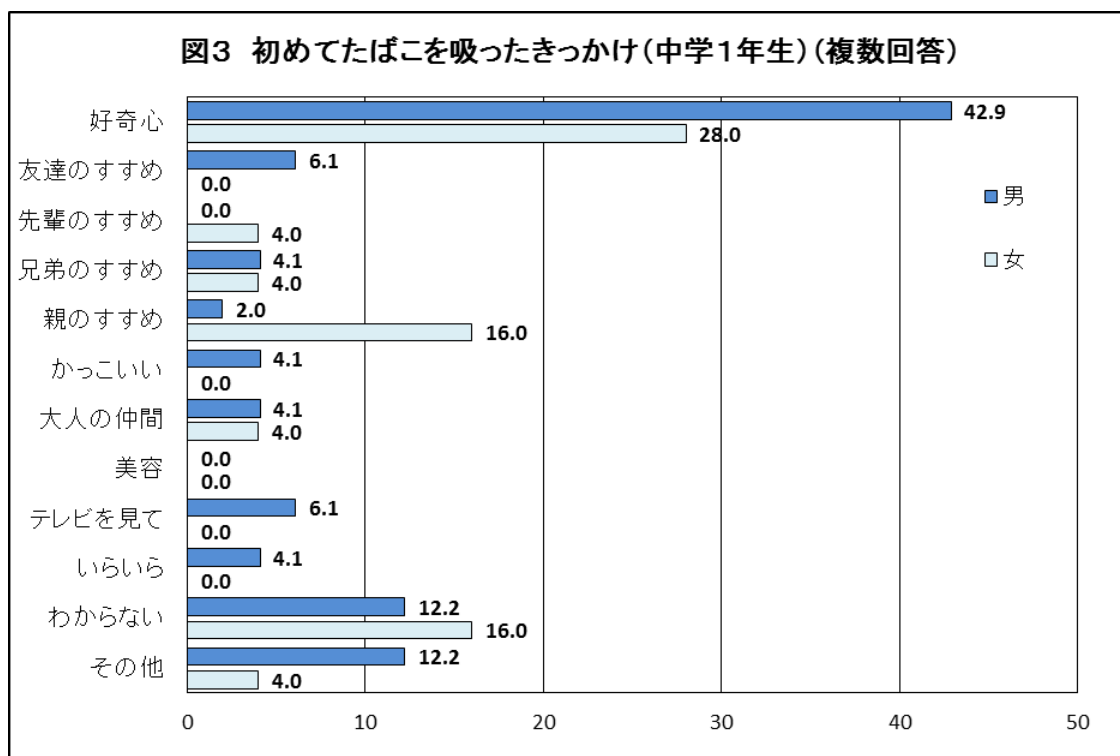
現在喫煙していると回答した者の割合は、中学1年生男子が0.1%、女子が0%、高校1年生男子が0.3%、女子が0.4%で、前回調査時（H23年度）と比較し、全てで減少している。（図2）



(3) 初めてたばこを吸ったきっかけ(複数回答)

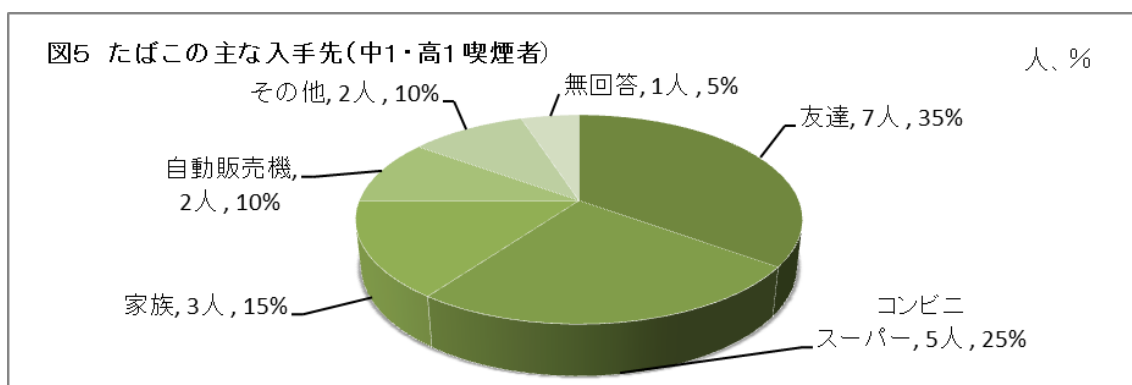
初めてたばこを吸ったきっかけは、中学1年生では、男女とも「好奇心」が最も多い。
(図3)

高校1年生では、男女とも「好奇心」が最も多く、次いで「友達のすすめ」が多い。
(図4)



(4) 主なたばこの入手先

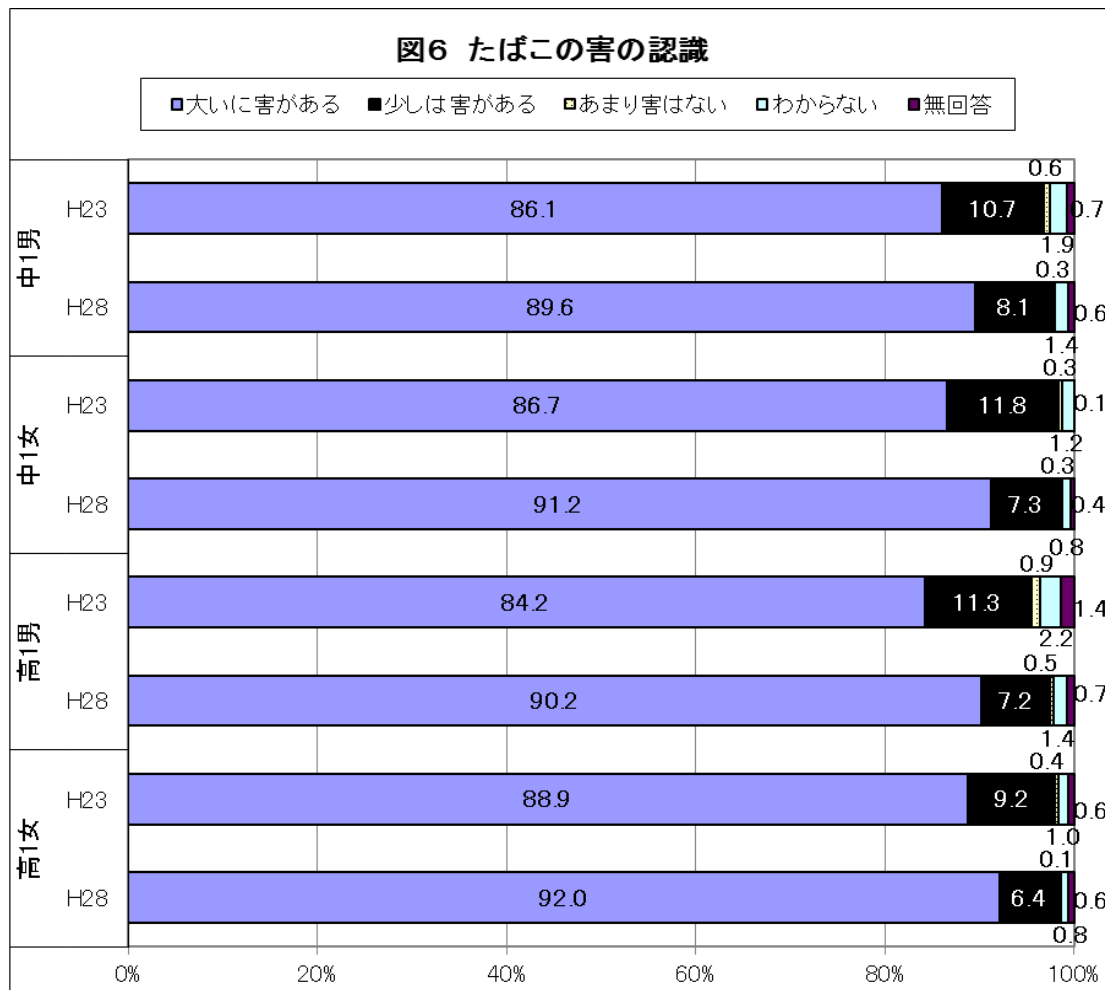
現在喫煙者（全学年・男女）20人の主なたばこの入手先は、「友達から」と回答した者が7人、「コンビニ・スーパー」と回答した者が5人であった。（図5）



(5) たばこの害の認識

たばこを吸うと身体に「大いに害がある」と「少しは害がある」と回答した者の割合は、中学1年生男子が97.7%、女子が98.5%、高校1年生男子が97.4%、女子が98.4%であった。

前回調査（平成23年度）と比べると、全てで「大いに害がある」と回答した者の割合が増えている。（図6）

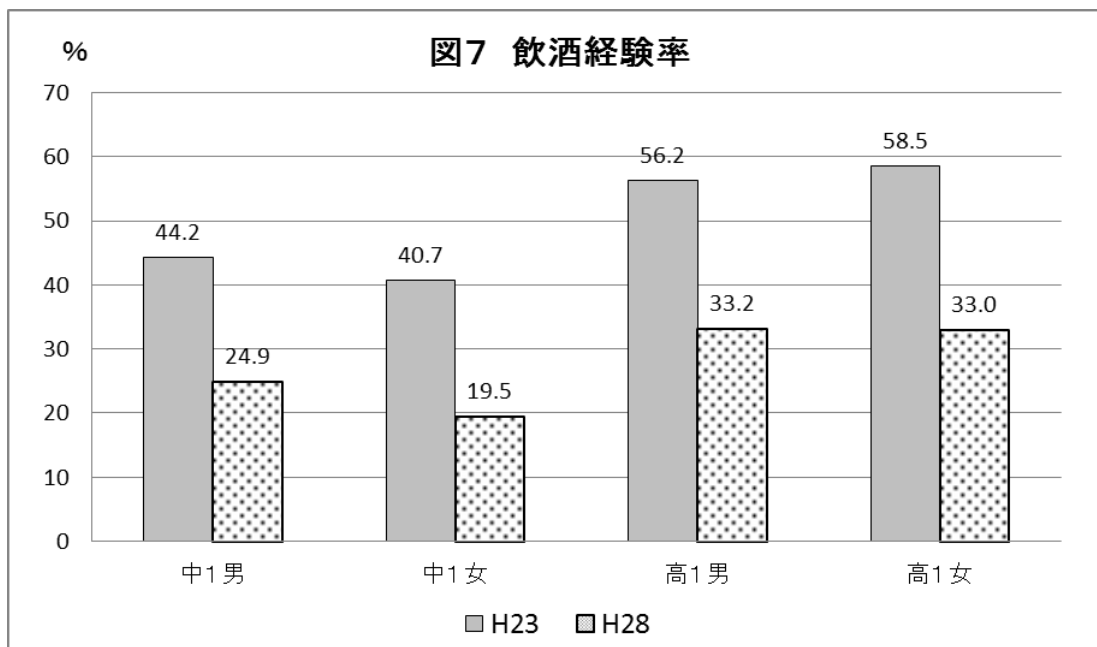


2 飲酒の状況

(1) 飲酒経験

飲酒経験は、中学1年生男子が24.9%、女子が19.5%、高校1年生男子が33.2%、女子が33.0%であった。

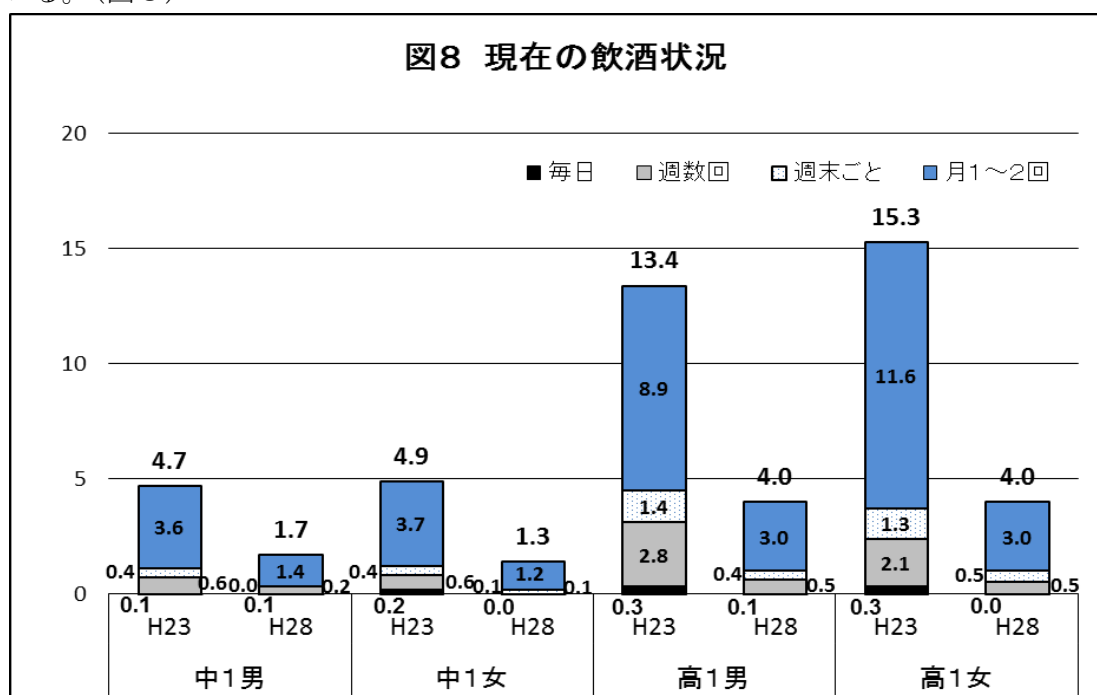
前回調査時（平成23年度）と比較し、全てで約20%減少している。（図7）



(2) 現在の飲酒状況

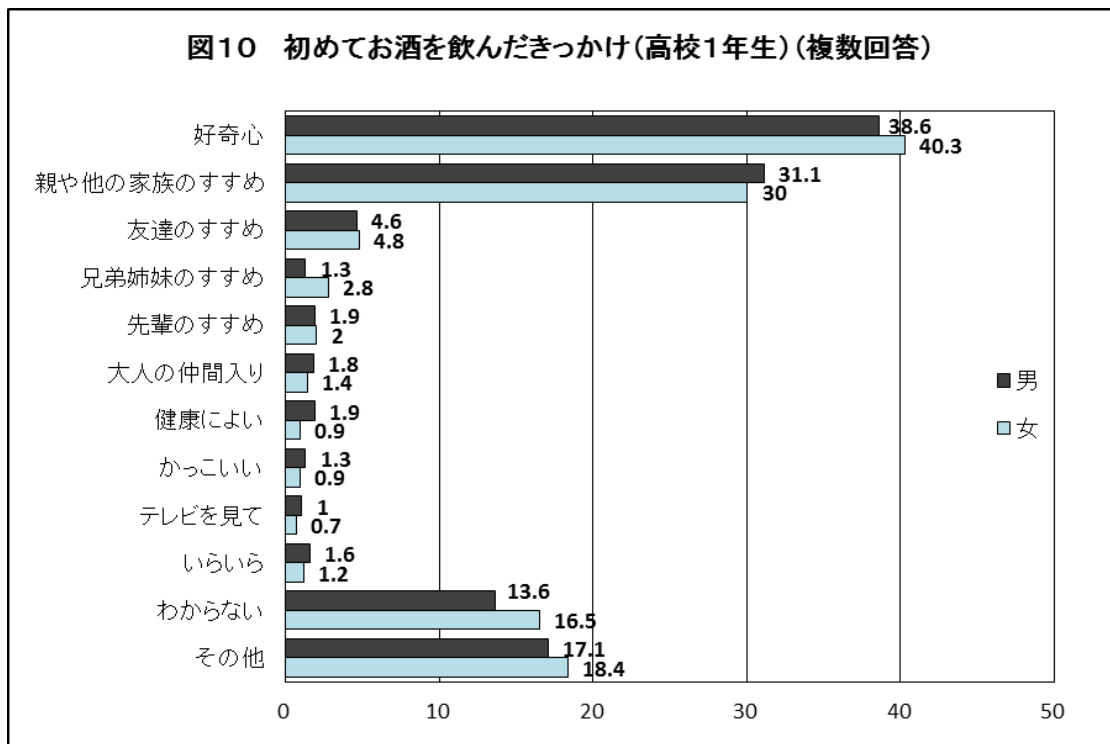
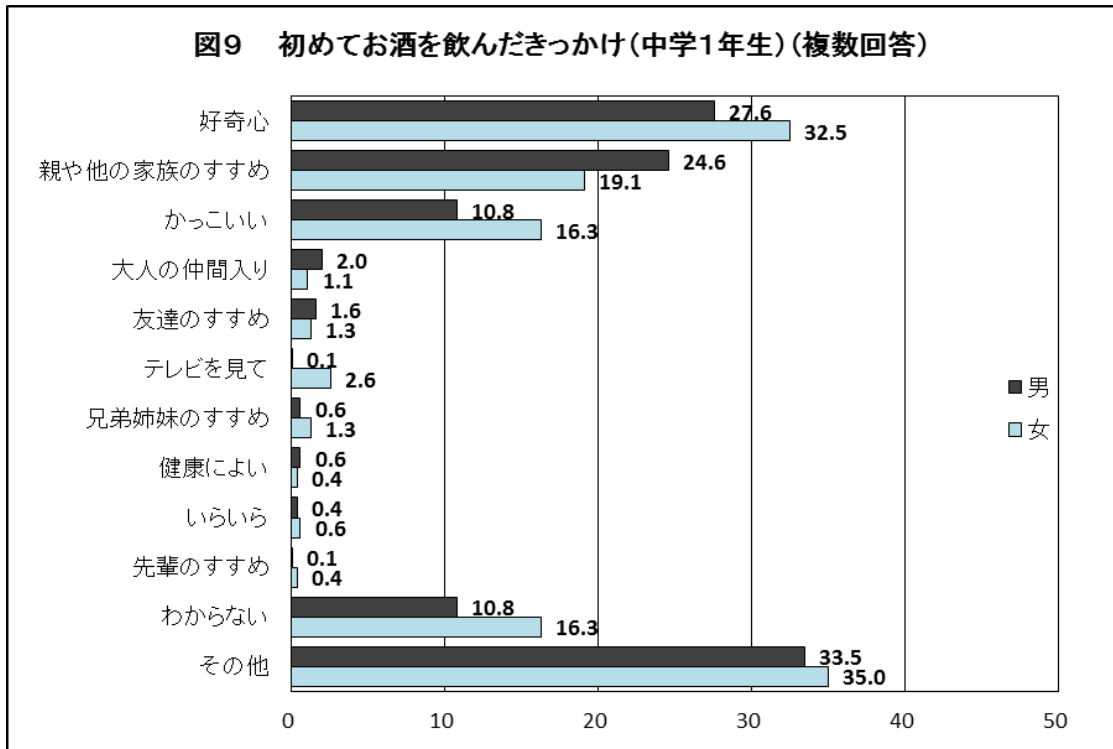
現在飲酒していると回答した者の割合は、中学1年生男子が1.7%、女子が1.3%、高校1年生男子が4.0%、女子が4.0%であった。

前回調査時（平成23年度）と比較して、全てで習慣的に飲酒している者の割合は減少している。（図8）



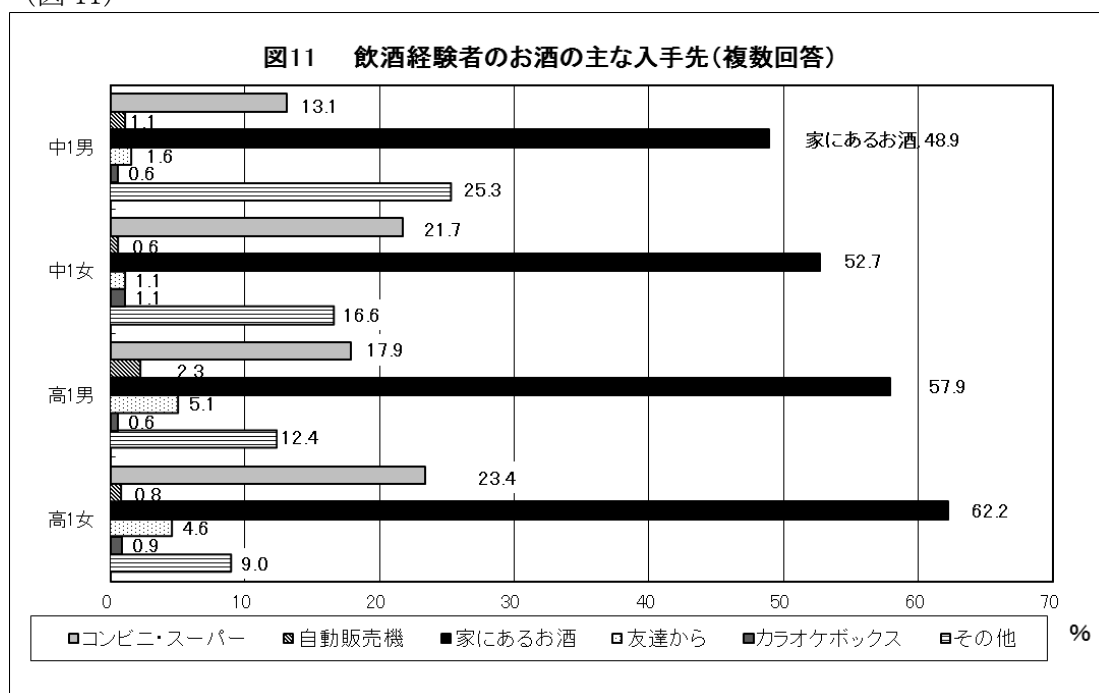
(3) 初めてお酒を飲んだきっかけ (複数回答)

初めてお酒を飲んだきっかけは、全てにおいて「好奇心」と答えた者の割合が最も多く、次に「親や他の家族のすすめ」が多かった。(図9・10)



(4) 主なお酒の入手先

飲酒経験者のお酒の主な入手先は、全てで「家にあるお酒」が最も多く、次に中学1年生男子は「その他」、中学1年生女子は「友達から」、中学1年生女子と高校1年生は「コンビニやスーパー」であった。(図11)



(5) 飲酒の害の認識

飲酒の害の認識では、「大いに害がある」と回答した者の割合は、中学1年生男子が43.1%、女子が49.1%、高校1年生男子が31.1%、女子が39.6%であった。

前回調査と比較すると全てで「大いに害がある」と回答した者の割合が増えている。(図12)

